

卒業生状況調査(2025年度実施)

調査目的 卒業生の状況把握を行うことでより良い学生支援へつなげるとともに、教育活動の見直しや改善を行い、教育内容の充実や社会で活躍する人材の育成等に活用することを目的とする。

調査実施日 2025年8月28日～2025年9月9日

調査対象 卒業後1、3、5年目の卒業生

調査方法 メールに記載のURLよりMicrosoft Formsにアクセスして回答。

調査件数 1,551件(内訳:2021年3月卒業:538件、2023年3月卒業:536件、2025年3月卒業:477件)

- 調査内容**
1. 卒業後の就職先
 2. 入職時期
 3. 職務内容
 4. 現在の状況
 5. 退職理由(退職した方のみ)
 6. 勤務先の良いと思う部分について
 7. 勤務先で改善して欲しい部分について
 8. 在学中に身につけたこと
 9. 在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか
 10. 就職を希望する学生に伝えて欲しいこと

調査結果 ■回答件数

241件(企業:139件、病院・施設:33件、公務員・学校:51件、進学・不明:18件)

(内訳 2021年3月卒業59件、2023年3月卒業80件、2025年3月卒業102件)

<参考>昨年度回答件数:244件(企業:135件、病院・施設:45件、公務員・学校:49件、進学・不明:15件)

■現在の状況

企業	在職 104件 退職 35件
病院・施設	在職 22件 退職 11件
公務員・学校	在職 39件 退職 12件

■退職理由

多くがスキルアップや希望業種・職種への転職、ライフステージの変化を理由としてあげていた。しかし、長時間労働やストレスによる体調不良、職場内でのトラブルによる退職も数件あった。

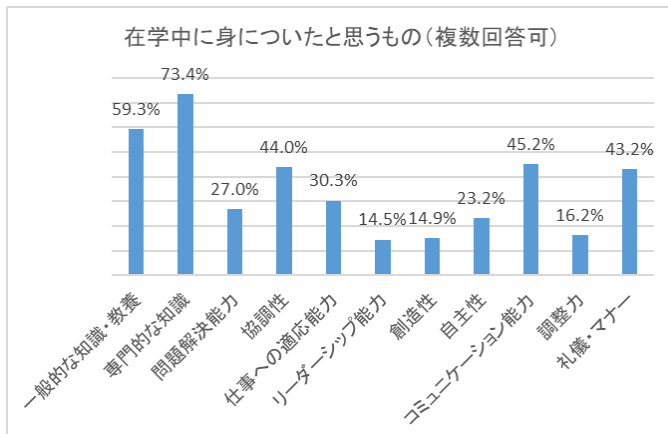
■勤務先の良いと思う部分について

資格を活かした業務を担当できている、1年目から商品開発に携わるチャンスがある、多くの部署があるの幅広い業務を経験できている等の回答が多いことから、卒業生は良い職場環境で職務に励むことができていると考えられる。また、福利厚生や休暇の取得状況、研修や教育制度についても多くの回答があり、卒業生からの貴重な情報として就職支援に役立てていきたい。

■勤務先の改善して欲しい部分について

給与や手当について、休暇が取れるように環境を整えて欲しいという意見があった。研修についてももう少し手厚くして欲しいとの声もあった。また、人員不足の改善に対する意見も多くみられた。

■在学中に身につけたと思うもの



半数を超える回答者が「一般的な知識・教養」「専門的な知識」が身についたと答えており、一定の教育効果が感じられる。一方、「リーダーシップ能力」「創造性」「調整力」は2割に届かず、今後、これらの強化が課題である。

■在学中に受けた教育内容やサービスは現在の仕事に活かしているか

講義や実習でのグループワークの経験は、コミュニケーション能力・協調性の向上に繋がり、自分の考えを伝える能力を身につけることができた。また、授業で学んだことを活かしており、授業資料は今でも参考にしているという回答も多かった。

■就職を希望する学生に就職課より伝えて欲しいこと

「内定が目標にならないように、就職後になるべく理想とのギャップが起きないように業務内容や職場の雰囲気などをしっかり調べるのが大切。(食品メーカー)」

「大学の学びと全く違う分野での就職も問題なく戦えます。資格就職に迷いがあった時は視野を広げてもいいと思います。一見すると栄養学と関係なさそうな分野でも女子栄養大学で学んだことは活かせると思うので、大学生活の中で様々な事を吸収し力を伸ばしていただければと思います。(金融関係)」

「面倒だと思っても学べることは沢山学んでおく後々本当に役に立つと思います。わたしは実感してます。そして何よりも今しかできないことを楽しんでほしいと思います。何事も全力で楽しみながら後悔しないように過ごして欲しいです！(家庭科教諭)」

「就職した後の自分のなりたい姿が想像できる会社を探すと長続きすると思います。不安も多いと思いますが、きっと大丈夫です！(小売業)」

「行政志望が周りにいなかったの、同級生が民間企業への就職が決まっている中、孤独や焦りを感じたりして辛い思いをしたときもありましたが、あのとき諦めなくて良かったと実感しています。就職活動は本当に心身削られますが、手は抜かず挑むことが良いと思います。自分の本当のやりたいことが現実となるよう、頑張ってください。(行政)」